

## 令和7年度 第2回沼津市総合教育会議

日時：令和7年10月27日(月) 15:00～16:30

場所：沼津市水道部庁舎 3階会議室

### < 次 第 >

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 協議・調整事項  
次期沼津市教育大綱について
- 4 報告事項  
沼津市立学校の教職員の働き方改革について
- 5 閉会

令和7年度

## 第2回 沼津市総合教育会議

令和7年10月27日

1

### 「総合教育会議」とは

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により、**地方公共団体の長が設置**。

↓ 目的は

**市長と教育委員会が**、地域の教育の課題等について**話し合いを通して**  
**情報を共有**し、一層民意を反映した教育行政の推進を図る。

2

### 会議の流れ

- 1 【協議・調整事項】  
次期沼津市教育大綱の策定に向けて
- 2 【報告事項】  
沼津市立学校の教職員の働き方改革  
について

3

### 【協議・調整事項】

**次期沼津市教育大綱の策定に向けて**

4

## 教育大綱とは

地方公共団体の長は、教育基本法第17条第1項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとする。

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第1条の3)



本市の教育理念や基本方針

5

(期間)

## 次期沼津市教育大綱と 沼津市総合計画について

第5次沼津市総合計画(令和3~12年度まで)

前半

現行教育大綱(令和3~7年度)

後半

次期教育大綱(令和8~12年度)

6

## 前回会議までの振り返り

協議による確認事項

- 骨子の継続
- 強調すべき3つの「要素」

7

## 前回会議までの振り返り

(骨子の継続)

<次期教育大綱の**目的・趣旨**>

「誇り高い沼津を創造する  
**貴き志**を持つ人づくり」

<基本方針>

- (1) 人間力を磨く教育
- (2) 地域総がかりで取り組む教育

8

## 前回会議までの振り返り

(強調すべき3つの「要素」)

- ・ **探究心**のさらなる必要性
- ・ **誰一人取り残さない社会**の構築
- ・ **ウェルビーイング**の向上



前回会議までのご意見を踏まえ次期教育大綱(案)を作成

誇り高い沼津を創造する  
貴き志を持つ人づくり

「貴き志を持つ人」とは

- ・ 夢を実現するべく、変化する社会の中で意思を持って学び続ける人
- ・ 他者を尊重し、地域や社会に貢献する人
- ・ シビックプライドを持ち、主体的に社会の形成に参画する人

### 基本方針

- 1 人間力を磨く教育
- 2 地域総がかりで取り組む教育

目的・趣旨 Purpose and Objective

誇り高い沼津を創造する  
貴き志を持つ人づくり

「貴き志を持つ人」とは  
夢を実現するべく、変化する社会の中で意思を持って学び続ける人  
他者を尊重し、地域や社会に貢献する人  
シビックプライドを持ち、主体的に社会の形成に参画する人

これは一歩一歩の歩みで進められ、必ずしも短期間で達成し、結果を求め、誇りを持つ。誇りが持たれて社会を築いていこうという心で取り組んでほしい。『貴き志を持つ人』の育成を目的とした。

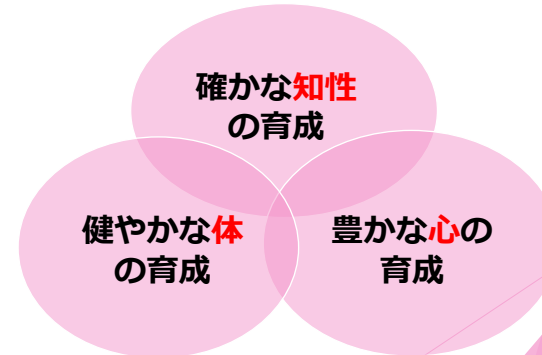
これからは、「貴き志を持つ人」の育成を目的として、これまでの沼津市教育大綱の趣旨を踏襲し、その中で「人間力を磨く教育」を重点として、次の100年を展望した教育大綱(案)を策定する。教育大綱(案)は、一人ひとりがそれぞれの学びを深め、沼津を誇りに感じながら主体的に参画する人づくりを目指す。



基本方針  
1 人間力を磨く教育  
2 地域総がかりで取り組む教育

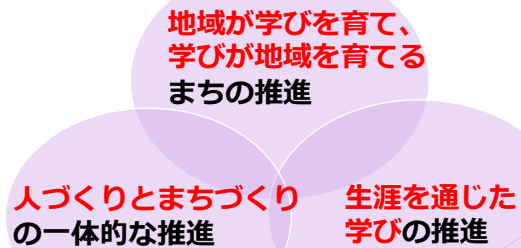
## (基本方針)

### 1 人間力を磨く教育



(基本方針)

2 地域総がかりで取り組む教育



13

強調すべき3つの「要素」の追加

- ・探究心のさらなる必要性



4ページ「人間力を磨く教育」  
(1) 確かな知性の育成 8行目

「～変化の激しい予測困難な時代を乗り越えるため、  
探究心を高め新たな価値を創造する確かな知性を～」

14

強調すべき3つの「要素」の追加

- ・誰一人取り残さない社会の構築



7ページ「地域総がかりで取り組む教育」  
(2) 生涯を通じた学びの推進 3行目

「～切れ目ない支援や多様なニーズへの対応を充実させることや何度でも夢に向かって挑戦できる学びの環境の整備を図り、子供たちを始めすべての人が輝くことができる環境を構築していきます。」

15

強調すべき3つの「要素」の追加

- ・ウェルビーイングの向上



4ページ「人間力を磨く教育」5行目  
「一人一人が幸せや生きがいを感じるためには夢や志を持って、自身の可能性～」

7ページ「地域総がかりで取り組む教育」6行目  
「～この学びの中で地域における自己有用感を高め、地域内はもとより地域間の強調を密なものとし、市民が地域とともに幸福を実感できるような人づくりとまちづくりの連携を推進していきます。」

16



## 重点的取組の4つのテーマ

- 1 探究的な学びの充実
- 2 すべての子供が輝ける学びの推進
- 3 生涯を通じた学びの充実
- 4 持続可能な教育環境の推進



子供・市民・地域の  
ウェルビーイングの向上

21

## 1 人間力を磨く教育の事例

(1) 確かな知性の育成



ICT活用教育の推進  
(探究的な学びの充実)

(1) 確かな知性の育成



学校の適正規模・適正配置の推進  
(持続可能な教育環境の推進)

22

## ● 学校の適正規模・適正配置の推進（検討例）

少子高齢化社会により、教育の質の維持のためには、学校の再編は今後必要となると見込まれる

学校統合を伴う場合に、校名、校章はそれぞれの学校で区別することが必要となるが、校歌について、統一の共通歌とし、統合した学校の校歌として推奨していくことを検討

シビックプライドを持ち、主体的に社会の形成に参画する人

23

## 1 人間力を磨く教育の事例

(2) 豊かな心の育成



文化芸術の振興  
(探究的な学びの充実)

(3) 健やかな体の育成



運動部活動の地域展開  
(すべての子供が輝ける学びの推進)

24

## 2 地域総がかりで取り組む教育の事例

(1) 地域が学びを育て、学びが地域を育てるまちの推進



地域とともにある学校教育  
(持続可能な教育環境の推進)

(2) 生涯を通じた学びの推進



幼保小の連携  
(すべての子供が輝ける学びの推進) 25

## 2 地域総がかりで取り組む教育の事例

(2) 生涯を通じた学びの推進



不登校対策  
(すべての子供が輝ける学びの推進)

(3) 人づくりとまちづくりの一体的な推進

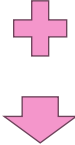


安全安心な学校環境の推進  
(持続可能な教育環境の推進) 26

現教育大綱の不易の部分

基本方針

- ・ 人間力を磨く教育
- ・ 地域総がかりで取り組む教育



今後の教育における重要な要素

- ・ 探究心のさらなる必要性
- ・ 誰一人取り残さない社会の構築
- ・ ウェルビーイングの向上

今後の5年間を見据えた

「誇り高い沼津を創造する  
貴き志を持つ人づくり」

27

今後のスケジュール

- ▶ 10月27日 総合教育会議にて大綱の案決定
- ▶ 12月上旬 11月市議会常任委員会で報告
- ▶ 12月中旬 パブリック・コメント  
～1月中旬  
(令和8年)
- ▶ 1月頃 次期教育大綱の完成
- ▶ 4月～ 次期教育大綱に基づき各種事業を展開



28

## 【報告事項】

# 沼津市立学校の教職員の働き方改革について

令和7年10月27日

1

## ◎教員の多忙化について



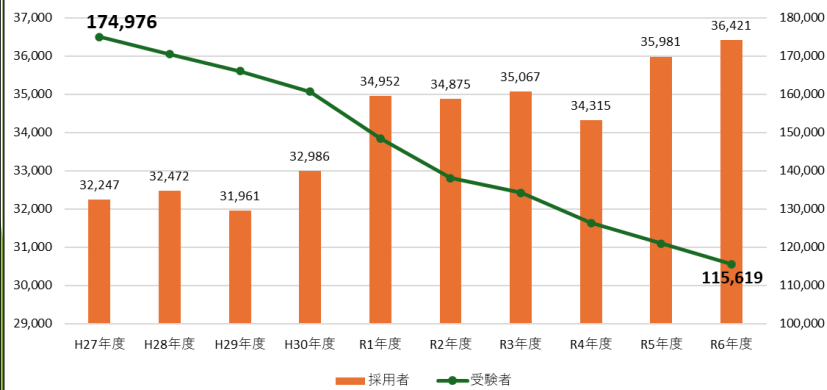
### 【要因】

- ・不登校など、よりきめ細やかなサポートを必要とする児童・生徒の増加
- ・教員のなり手が不足 など

2

## 公立学校教員採用試験の推移

(文部科学省データより)



3

## 教員の多忙化による影響



- ・教育の質の低下の懸念
- ・政府による小中教員の働き方改革の推進

4

# 「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法(給特法)」 などの一部改正

- 公立学校における教員の「働き方改革」の一層の推進
- 組織的な学校運営及び指導の促進
- 教員の処遇の改善を図る



# 「すべての子供たちへのよりよい教育の実現」を目指して ～令和7年6月11日 給特法等改正法が成立しました～

## 教師の働き方が変わります！

教師が「学びの専門職」として、子供に全力で向き合えるようにするため、**働き方改革を徹底して進めます**

- すべての関係者が連携・協働して働き方改革を進めるための**仕組み作り**
- 教職員定数の改善や支援スタッフの充実による**マンパワーの拡充**

さらに

- 教師の職務の重要性にふさわしい**処遇の改善を進めます**
- 約50年ぶりとなる**教職調整額の引上げ** 等



## 教師の健康・福祉の確保に向けて

教育委員会  
の皆様へ

今般の法改正等を踏まえ、教育委員会は、教師の服務監督権者として

- 「業務量管理・健康確保措置実施計画」の策定、公表、実行
- 地域の理解を得るための周知・広報
- 「計画」の総合教育会議への報告
- 首長部局との連携
- 個々の学校・教師の勤務時間のモニタリング
- 学校への支援



といった取組を進めていただく必要があります

※都道府県教委については、市町村教委への指導・助言

そのために国も全力で取り組みます



## 学校と教師の業務の3分類

別添4

- 教師が教師でなければできない業務に専念できるよう、服務監督教育委員会は、これらを踏まえて、それぞれの地域における業務の見直しについて、優先的に対応するものから「業務量管理・健康確保措置実施計画」に反映。
- 学校は、学校運営協議会等での議論を経て、優先順位を定めながら、各校の実情に応じた運用を行う。これらの代表例のほか、地域・学校ごとの議論を踏まえて、業務を不断に見直すことが必要。

学校以外が担うべき業務	教師以外が積極的に参画すべき業務	教師の業務だけが負担軽減を促進すべき業務
1 登下校時の通学路における日常的な見守り活動等	6 調査・統計等への回答   学校の活動記録やデジタル技術を活用し、事務職員を中心に実施	14 給食の時間における対応   施設に関する指導については、卒業教員等が対応
2 放課後から夜間などにおける校外の見守り、児童生徒が補導された時の対応	7 学校の広報資料・ウェブサイトの作成・管理   学校が行う場合は事務職員等が積極的に参画	15 授業準備   教科書訂正など補助的業務を教員業務委託業務の支援として実施。デジタル技術の活用も促進
3 学校収収金の徴収・管理(公会計化等)	8 ICT機器・ネットワーク設備の日常的な保守・管理   教育委員会と連携を図りながら、事務職員等を中心に実施し、地域の民間に広く外部委託も積極的に対応	16 学習評価や成績処理   採点作業の大半を教員業務委託業務の支援として実施。デジタル技術の活用も促進
4 地域学校協働活動の関係者間の連絡調整等	9 学校プールや体育館等の施設・設備の管理   教員は事業等に参画して平日非時点を除き、外部委託等も積極的に対応	17 学校行事の準備・運営   関係機関との連携や中核的業務等に参画して、事務職員や民間企業との協働を促進
5 保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応	10 校舎の開設・施設   副校長・教員に限定せず、機材整備、収容分限の見直し等も促進	18 進路指導の準備   就職先に関する情報収集等について、事務職員や民間企業との協働を促進
	11 児童生徒の休み時間における安全への配慮   地域住民等の支援や、輪番等も促進	19 支援が必要な児童生徒・家庭への対応   専門スタッフの活用も促進
	12 校内清掃   児童生徒への清掃指導は、地域住民等の支援を得て、回収・搬出の合理化も促進	
	13 部活動   部活動の地域展開・地域連携を促進	

## 沼津市立全小中学校の 教員の時間外勤務

月ごとの時間外勤務の平均時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
R6	52	47	41	34	6	37	43	39	27	31	32	29	36
R7	46	42	41	32	6	35	—	—	—	—	—	—	—

- ・ R6年度とR7年度の1学期平均を比べると、小中ともに減少。
- ・ 国の目標は、月45時間以内、2029年までに30時間以内。
- ・ 管理職、教務以外の教員で、4月から6月までの3ヶ月連続80時間を超える時間外勤務の職員は、管理職同席のもと、夏休み中に面談を実施。

9

## 「先生の働き方改革」 チェックシートの活用

- ・ 先生方が、個人で取り組むことができそうな内容をチェック

→ 自己の業務を見直し、  
業務改善につなげる

「先生の働き方改革」チェックシート

氏名： \_\_\_\_\_

※ 今年度の時間外勤務時間数を月ごとに記入しましょう。（単位：時間）

月	4	5	6	7	8	9	#	#	#	#	1	2	3	月平均
目標														
結果														

※ 学期ごとに、自身の取組を振り返る参考に活用ください。

項 目	取 組 状 況	
	1学期	2学期
1 目標を立てて、業務改善に取り組んでいますか。		
2 その日の業務時間を決め、その時間に臨むように、計画的に仕事を進めていますか。		
3 あらかじめ決めた日（週に1度、月に2度など）に定時退勤日を決めていきますか。		
4 困難が残っていても、先に退勤することに抵抗はありますか。		
5 授業改善と業務の効率化に両方①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩を活用していますか。		
6 SSSや児童生活支援員を有効に活用していますか。		
7 1人で抱え込みます。同僚に相談していますか。		
8 継続時間をきかんと取っていますか。		
9 ワークライフバランスを奪って働いていますか。		
10 管理職で同僚と業務改善について相談していますか。		

【記入例】 ○：十分に取組んでいる △：取組が不十分 ×：取組めず

時間外勤務の削減に向けて、取り組みたいと思うことはありますか？

10

## 【報告事項】

## 沼津市立学校の教職員の 働き方改革について



11